

久遠塾塾長に向井さん

白糠 校外学習経験生かす

【白糠】白糠高校の生徒を対象にした公営塾「久遠塾」の3代目塾長として福岡県福岡市出身の向井啓暢さん（57）が13日、着任した。スタッフを束ね生徒の学習をサポートする向井さんは明治大学商学部商学科卒業後、同大学院政治経済学研究科で地理歴史の教員免許を取得した。（水谷友路）

予備校講師を経て鹿島学園高校（茨城県鹿嶋市）に抱いていた中、久遠塾の存在を知り「人材を地域ぐるみで育てたいという気持ちの強さを感じた」と塾長に応募した。

今年4月に通信制の一ツ葉高校（神奈川県横浜市）の教員となった。

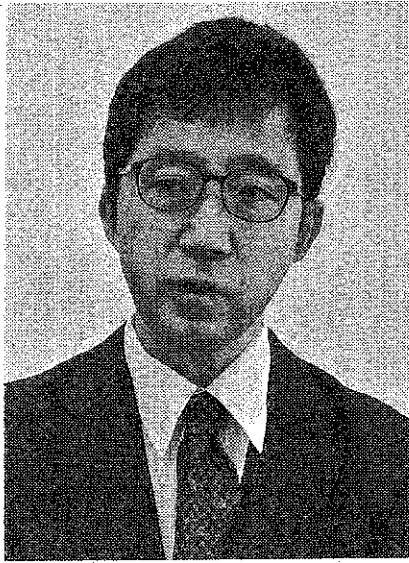
鹿島学園高時代に鹿島神宮や製鉄所、市議会などへ出向く校外学習を担当した経験を生かし、まちづくりについて教えたいと考えて

いる。「机の上で学んだことと、自分の身の回りで起こったことを結び付けてほしい」と語る。

初代塾長の上内智英地域

教育コーディネーター（53）

は「久遠塾も3年目だが、今までできなかったことをやれる気がする。前のことを引き継ぎつつも、新しいことをとことんやってみてほしい」と期待している。



地方創生に向けた人材育成に意欲を示す向井さん